

令和4年度 事業報告

超高齢社会の進展や人口減少の進行等によって、地域の中で住民同士のつながりが希薄化し、個々の課題が複雑化・多様化しています。加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化は多くの地域活動の休止や見直しといった影響を与え、貧困や社会的孤立等、住民を取り巻く課題が深刻化しています。

このような中、本会では、地域活動の再開へ向けた支援や生活困窮者への支援を行い、地域住民をはじめ、関係機関・団体とともに解決に向け取組を進めてきました。

また、門川町の「第3次地域福祉計画」と門川町社会福祉協議会の「第5次地域福祉活動計画」を基に一体的に策定した「地域福祉総合計画」を基本として進めるとともに、ICTの検討推進を図り、地域福祉事業・介護予防事業をはじめ介護保険事業を町民、行政、関係機関等と一体となり行いました。

今後も、さらに進展する超高齢化や多様化する福祉課題の解決に向けて取り組んでまいります。

以下、令和4年度の事業計画に掲げた具体的事業等について報告いたします。

1. 活動推進状況

1) 地域福祉事業の推進

()内は昨年度

(1) 地域福祉総合計画〔第3次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画〕の推進

- ・地域福祉総合計画策定の進行管理
- ・社会福祉協議会事業評価の実施

実施日	令和4年6月10日(金)	令和4年6月27日(月)
場所	門川町総合福祉センター	門川町総合福祉センター
出席者	理事5名、監事2名	評議員6名、監事2名
内容	令和3年度事業報告及び収支決算について	

(2) 地域での見守り交流活動支援

①地区福祉推進委員会活動の推進

地区福祉推進委員長 41人(地区会長)

地区福祉推進委員 412人(推進委員長含む)

(推進委員の任期は1期3年で、令和3年度が一斉改選〔改選率19.2%〕

令和4年度は一部改選。〔改選率7.3%〕

ア 地区福祉推進委員研修の実施

○門川町福祉推進大会の開催

実施日	令和5年3月18日(土) 午前9時30分から
場所	門川町総合文化会館
テーマ	住民参画による人にやさしい福祉の町づくりをめざして
参加者	町民、関係役員、地区福祉推進委員、福祉団体他 258人
内容	開会行事、講演 演題:「暮らしの安心を支える、地域のつながりづくり」 講師:日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

○地区福祉推進委員会への職員派遣

実施日	令和4年6月19日(日)
場所	古川公民館
内容	南町1区福祉推進委員会 ・地区行事計画(案) ・高齢者等要支援者の情報共有 ・どこシル伝言板の紹介、他

実施日	令和4年12月7日(水)
場所	三ヶ瀬地区多目的研修施設
内容	三ヶ瀬地区福祉推進委員会 ・福祉推進委員活動 ・地域包括支援センター事業

イ 地区福祉推進委員長会の開催(年2回)

実施日	1回目: 令和4年5月27日(金) 2回目: 令和4年9月29日(木)
場所	門川町総合福祉センター
参加者	1回目: 40人、2回目: 40人
内容	1回目: 新任研修…福祉ネットワーク事業の基礎 他 全体研修…社会福祉協議会事業、小地域ネットワーク事業 地域包括支援センター事業 2回目: 地域包括支援センター・NPO法人『つながり』の事業

ウ 小地域見守り活動の充実

- ・安心カード登録者台帳更新
(ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、その他気になる世帯等)
- ※変更があった場合は随時更新

エ 活動費の助成

- ・地区福祉推進委員会活動費助成
37地区 762,000円(39地区 802,000円)
1地区あたり 福祉推進委員数 × 2,000円
- ・地区自主活動支援 年3回以上の活動に対し年間30,000円助成
37地区 1,001,000円(38地区 1,120,000円)

バス交流事業、七夕まつり、大師祭、花植え、ラジオ体操、清掃活動、子どもとの交流事業、しめ縄づくり、敬老会、ひな祭り、花見 高齢者・障がい者宅等への訪問(食品、生活用品、商品券の配布等)

- ・年末年始事業助成
22地区 215,911円(24地区 240,000円)

高齢者宅への訪問(ケーキ・お菓子・お弁当配布、物品)、交流会(グラウンドゴルフ、食事、ゲーム)、防災活動(消火器訓練)、子ども感染予防対策(マスクの配布)、柳餅づくり交流会など
--

オ 福祉推進大会の開催（門川町社協主催）【再掲】

カ 福祉バス運行事業【町補助事業】

福祉バス運行を実施し、高齢者の生きがいつくり及び地区福祉推進活動支援を行いました。

運行種別		回数（回）	利用者（人）
福祉バス 運行	県内	5	86
	県外	3	78
合 計		8	164

②生活支援体制整備事業の受託【町受託事業】

ア 生活支援コーディネーターの配置（2名）

イ 社会資源の整理とニーズの把握

高齢者等に優しいお店・活動ガイドブックの作成【新規】

ウ サービス開発に関する会議の企画・運営

実施日	令和4年 7月7日（木）、7月27日（水）、8月10日（水）、10月25日（火）、 11月24日（木）、12月22日（木） 令和5年 1月24日（火）、2月9日（木）、2月24日（金）、3月15日（水）
場 所	門川町役場
内 容	・第1層協議体の立ち上げについて ・地域課題とサービス開発 ・スケジュール、役割分担

実施日	令和4年10月27日（木）
場 所	門川町役場
内 容	北海道斜里町役場職員来所。 ・生活支援コーディネーターの取り組みについての意見交換。

実施日	令和4年11月1日（火）、令和5年2月1日（水）
場 所	西都市商工会議所 3階大ホール（11月開催） 宮崎県トラック協会 総合研修館（2月開催）
内 容	重層的支援体制推進会議 包括的相談支援のポイント、参加支援・地域づくりのポイント

実施日	令和4年10月18日（火）、令和5年2月3日（金）、3月3日（金）
場 所	門川町総合福祉センター、門川町役場
内 容	通所型サービスC型について打ち合わせ サービス内容、日程、利用人数、職員、必要な書類等

- エ 自治会運営型ヘルパー活動の推進（モデル指定）
新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

（関連情報研修・会議の参加）

実施日	令和4年6月21日（火）
場所	門川町総合福祉センター（リモート研修）
内容	孤独、孤立の実態把握に関する課題の背景と取組み

実施日	令和4年9月28日（水）
場所	門川町総合福祉センター
内容	担い手育成教室、認知症を切り口にした地域支援

- オ 地区サロン等における買い物支援活動の推進

実施日	令和4年11月17日（木）、12月6日（火）
場所	門川町総合福祉センター
内容	買い物支援SNS活用の協議 システム説明、事例紹介

- カ 地域包括ケア会議への出席（年4回）

③ ICTを使った地域福祉活動の推進

- ア ICTを進めるための環境の整備（テレビ会議Zoomライセンスの取得）
イ ICTを活用した事業の推進（テレビ会議Zoom等による会議の参加）

④福祉情報の提供とイベントの実施

住民への広報活動やイベントを通し、福祉意識の高揚を図ります。

- ア 第27回福祉ふれあい祭りの開催

実施日	令和4年10月16日（日）
場所	門川町総合文化会館、クリエイティブセンター門川
テーマ	「広げあおう 君のやさしさ 福祉の世界」 門川高等学校 1年 佐藤 莉央奈 さん
参加者	町民、福祉団体、福祉施設および関係者 1,586人
内容	ふれあいステージ、ふれあい笑店街、福祉体験コーナー、 赤い羽根共同募金コーナー、キッズコーナーなど

- イ 門川町福祉推進大会の開催（再掲）

- ウ 情報提供の充実

- ・社協だよりの発行（第328号～第339号）
- ・町内掲示板、班回覧の活用
- ・ホームページによる情報提供
- ・FMひゅうが出演による情報提供

(3) 総合相談事業の実施【町受託事業】

常設相談・無料弁護士相談を実施し、町民が抱えている心配ごとや専門的な事案に対し総合的に対処し、問題解決への相談に応じました。

①常設相談員の配置と無料弁護士相談の実施

事業名	開設日	開設時間
常設相談	月～金曜日（祝祭日除く）	午前9時～午後4時まで
無料弁護士相談	毎月第3火曜日	午後1時30分～午後4時30分まで

相談件数 通常相談 414件（338件）
 弁護士相談 73件（48件）
 合計 487件（386件） [] 内は弁護士相談

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	16 [2]	人権・法律	92 [11]
年金	1 [0]	財産	76 [30]
職業・生業	9 [4]	事故	7 [3]
住宅	13 [5]	児童母子福祉	2 [1]
家族	15 [3]	教育・青少年	0 [0]
結婚	0 [0]	心障児（者）福祉	6 [0]
離婚	29 [10]	母子・父子福祉	0 [0]
保健・衛生	3 [0]	老人福祉	105 [0]
医療	2 [0]	苦情	20 [3]
精神保健	5 [1]	その他	13 [0]
合計			414 [73]

②総合相談センターだよりの発行（年6回 社協だより）

(4) 生きがいづくり・介護予防事業の実施

①福祉バスの運行事業【再掲】

②高齢者スポーツ活動助成

グラウンドゴルフ、四半的協会が開催するスポーツ大会に助成を行いました。
 2団体 15,000円（1団体 5,000円）

(5) 住民主体のボランティア活動の推進

①ボランティアセンター事業の推進

○ボランティア活動者

項目	人数	団体名
ボランティアセンター把握者数	1,861 (2,089)	・門川町高齢者クラブ連合会 ・地区福祉推進委員会 ・子ども見守りネットワーク活動者 ・災害ボランティア関係活動者他
ボランティアセンター登録者数	419 (422)	・門川町ボランティア連絡協議会会員 団体330人、個人7人 ・福祉施設訪問ボランティア82人

ア ボランティア活動に関する協議への参加

- ・福祉教育に関する検討会への参加（教育の絆推進懇話会）（年3回）
- ・学校運営協議会への参加（各学校1名）

会議名	回数
地域学校協働本部会	2
門川小学校	3
草川小学校	3
五十鈴小学校	3

イ ボランティア受給・調整・相談業務の充実

相談件数（件）	12（15）
活動件数（件）	10（11）
活動者数（人）	54（52）

（相談・派遣内容）手話通訳、福祉体験学習、門松作成等

ウ ボランティア活動に関する情報提供の充実

- ・社協だよりの発行（第328号～第339号）【再掲】
配布先 町内全世帯、福祉施設関係機関 毎月6,200部作成
- ・町内掲示板、班回覧の活用【再掲】
- ・本会ホームページでの情報提供【再掲】

エ 行事等における託児ボランティア事業の推進

新型コロナウイルス感染症拡大により依頼なし。

②子ども見守りネットワーク事業の推進

児童・生徒の安心・安全な地域づくりを目的として事業を行いました。

ア 子ども見守りネットワーク推進会議の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

イ 子ども見守り活動の広報の充実（社協だよりによる広報 年3回）

ウ 登下校時の見守り活動の実施

- ・見守り登録者への更新案内（令和4年6月）
- ・見守り登録者数 386人（394人）

登録団体名：門川町民生委員児童委員協議会、門川町高齢者クラブ連合会、 門川町ボランティア連絡協議会、門川町婦人団体連絡協議会、 町内小中学校、地区福祉推進委員会、いすず保育園、草川保育園、 （株）西の丸、商工会他 門川小学校区（15団体、個人2名）、草川小学校区（10団体、個人1名） 五十鈴小学校区（12団体、個人2名）、町内全域（7団体）
--

エ 青色回転灯装備車による巡回運行パトロールの実施

- ・入学、新学期時のパトロール実施
- ・町と連携し、夜間パトロールを週に1回
(午後5時30分から午後6時30分まで実施)

登録団体名：門川町役場、(株)西の丸、五十鈴小学校PTA、草川小学校PTA、 門川町社会福祉協議会
--

③災害ボランティアに関する事業の推進

ア 災害ボランティア運営に関する研修会の参加

研 修 会 名	日向・東臼杵郡 災害ボランティアセンター運営研修会
実 施 日	令和4年11月27日(日)
場 所	美郷町南郷農林業者トレーニングセンター(美郷町)
参 加 者	日向・東臼杵ブロック社協職員(本会2名参加)

イ 災害ボランティア推進協議会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大により中止。

ウ 避難行動要支援者等に関する情報共有

- ・民生委員児童委員協議会との情報共有の実施
- ・地区福祉推進委員会との要援護者情報の共有

エ 災害ボランティアの啓発・広報

- ・社協だよりによる情報提供(令和4年9月号)

④住民参加型在宅福祉サービス「たんぼぼ会」

住民相互の支えあい・たすけあい活動を行いました。

- ・サービス提供状況 協力会員 7人(7人) 利用会員 32人(33人)

区分	実利用人数(人)	派遣回数(回)	派遣時間(時間)
家事援助	31(32)	526(608)	936.5(1064.5)
身体介護	0(0)	0(0)	0(0)
育児支援	0(0)	0(0)	0(0)
合計	31(32)	526(608)	936.5(1064.5)

⑤福祉教育の推進

ア 社会福祉普及推進校の指定

門川小学校、草川小学校、五十鈴小学校、門川中学校、門川高等学校(全5校)

- ・活動費助成(1校につき年間上限50,000円で助成 事業申請型)

助 成 額	250,000円
内 容	子ども見守りネットワーク事業、施設利用者との交流、 環境美化活動、福祉体験学習、募金活動など

・福祉体験学習の支援

実施日	令和5年2月10日(金)
場所	草川小学校
参加者	61名
出席者	講師 視力障がい者福社会2名、社協職員2名
内容	・アイマスク体験 ・車いす体験

イ ふくし体験サポーター養成研修の開催

実施日	令和5年3月20日(月)
場所	門川町総合福祉センター
参加者数	29名(一般受講者8名、手話サークル21名)
出席者	講師 日向聴覚障がい者協会3名、手話サークル3名
内容	聴覚障害について(講話) 手話の挨拶、自己紹介の方法

ウ 夏休みボランティア体験事業の実施

新型コロナウイルス感染症拡大により中止。

エ 教育の絆推進懇話会、学校運営協議会の参加

- ・教育の絆推進懇話会【再掲】
- ・学校運営協議会への参加【再掲】

(6) 関係機関・団体とのネットワーク形成

①福祉団体の育成支援事業の推進

ア 事務局業務

団体名	活動内容
門川町民生委員児童委員協議会	総会、監査(年1回)、 正副会長会(1回)、運営委員会(4回)、 定例会(11回) 毎月第3木曜日 一斉改選に伴う引継ぎ式・委嘱状交付式
門川町高齢者クラブ連合会	総会(年1回)、理事会(年6回) 会長・女性部長合同会(年2回) 監査(年1回) 高齢者クラブ大会、さわやか交流会
門川町ボランティア連絡協議会	総会(年1回) 理事会(年8回) 監査(年1回)

イ 活動費助成

福祉団体、当事者団体等の育成および支援を目的に、活動費助成を行いました。

5団体 151,000円（4団体 136,000円）

団体名	事業内容	助成金額(円)
門川町高齢者クラブ連合会	単位クラブ活動支援	76,000
門川町ボランティア連絡協議会	会員研修会、情報誌発行	35,000
門川手話サークル	聴覚障がい者と手話講習生の交流活動	20,000
門川町保護司会	保護司会のPR活動	10,000
門川町更生保護女性会	児童の訪問活動	10,000

②福祉施設合同事業の実施

草川地区の福祉施設間交流を目的に実施していた餅つきおよび鏡餅づくりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度も中止となりましたが、ふれあい地球館の利用者及び職員が作成した鏡餅を希望する施設に配布しました。（令和4年12月）

③日向・東臼杵ブロック社協連絡協議会事業への出席

ア 理事会

実施日	第1回 令和4年5月11日（水） 2名出席 第2回 " 7月22日（金） 1名出席
場所	日向市総合福祉センター
出席者	事務局長、地域福祉課職員
内容	令和3年度事業報告及び決算報告について 令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 役員体制について 職員研修会及び職員交流会について 災害ボランティアセンター運営等訓練について

イ 災害ボランティアセンター運営研修会【再掲】

（7）低所得者支援および日常生活支援

①生活困窮者自立相談支援事業【町受託事業】

ア 一次相談窓口業務に関すること

相談件数	65件〔来館22件、電話10件、訪問33件〕
相談者	46人
相談内容	・収入・生活費・債務・税金等の未納・差押え ・仕事探し、就労・住居、住まい・引きこもり、 不登校について・DV、虐待等について

イ 生活困窮者関係機関との連携

他機関連携の個別相談支援会議・研修

12回

②生活困窮者に関する支援事業

ア フードバンク事業

生活困窮者から相談を受け、必要な方に食糧の提供を行いました。

相談件数	申請件数	決定件数	実利用人数
51 (80)	48 (80)	48 (80)	46 (39)

イ 要支援者宅清掃事業

対象世帯	件数 (件)
高齢者世帯	2
障がい者世帯	0
合計	2

ウ 法外援護事業

行路人や浮浪者など、法的に援助・支援されない者を対象に1回につき隣接市町村への交通費相当額500円を支給した。

令和4年度 1件 (0件)

③門川町成年後見事業【町受託事業】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が低下した方に対し職員が法人を代理して、成年後見制度に基づき財産管理や身上監護を行い支援しました。

ア 成年後見センターかどがわの運営

受任者	4名
定期支援	月1回 成年後見支援員(2名) ※突発的な事項等については専門員が対応
内容	年1回、裁判所への書類提出(4名) 定期的な支援(月1~2回) ケース会議への参加(随時)

イ 事業実施に関する会議等の実施

期日	令和4年7月1日(金)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
内容	法人後見事業に係る監査 受任者: 4名
出席者	九州保健福祉大学 教授 川崎 順子 氏 特別養護老人ホーム大地 施設長 森迫 研晴 氏 事務局: 4名

ウ 事務局会議の実施

期日	令和4年9月12日(月)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
内容	・受任状況報告 ・個別対応について協議 ・成年後見センターかどがわ運営委員会について
出席者	事務局長、事務局次長、担当課課長、課長補佐、主務者

エ 法人後見支援員の研修会の参加

期 日	令和4年10月11日（火）
場 所	門川町総合福祉センター（オンライン）
内 容	成年後見制度市町村職員等フォローアップ研修 4名参加

④資金貸付事業

ア たすけあい金庫貸付事業【本会自主事業】

○相談件数、貸付額

相談件数	申請件数	決定件数	金 額(円)
17 (10)	12 (6)	12 (6)	420,000 (240,000)

イ 生活福祉資金【県社協受託事業】

低所得者・高齢者・障がい者の貸付対象世帯に対し、資金の貸付と必要な相談援助を行い、経済的自立および生活意欲の助長促進と社会参加を図り、安定した生活を送れるよう支援しました。

○相談件数、貸付額

相談件数	相談延件数	申請件数	決定件数	金 額 (円)
18(7)	21 (11)	5 (2)	5 (2)	3,197,000(3,268,000)

ウ 生活福祉資金特例貸付【県社協受託事業】

新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯に、緊急かつ一時的な生計維持のために生活費を貸付する相談窓口として対応しました。

資金名	申請件数	決定件数	金 額 (円)
緊急小口資金	21 (50)	21 (50)	4,200,000 (10,000,000)
総合支援資金	14 (47)	14 (47)	14,550,000 (29,750,000)
総合支援資金（延長）	0 (13)	0 (13)	0 (7,200,000)
総合支援資金（再貸付）	0 (41)	0 (41)	0 (22,200,000)

⑤日常生活自立支援事業の実施【県社協受託事業】

認知症、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が不十分な方、生活に不安のある高齢者等が、地域において安心して自立した生活を送れるよう支援しました。

ア 専門員の配置 1人

イ 生活支援員の配置 3人

ウ 実利用者、契約者数

令和5年3月31日現在

実利用者数	新規契約者数	契約解除数	延支援回数（回）
20 (18)	4 (2)	2 (4)	508 (476)

⑥福祉用具貸出事業（日常生活支援）（単位：台）

福祉用具	通常貸出	短期貸出
電動ベッド	12 (14)	1 (1)
車椅子	19 (21)	26 (12)
その他	5 (5)	11 (15)
合計	36 (40)	38 (28)

(8) 子育て支援事業の推進

放課後児童対策事業（児童クラブ）【町受託事業】

※登録児童数は令和5.3.31現在

校区名	実施場所	開館日数	登録児童数	延べ利用者数
門川小学校区	中央公民館	261日	32人	4,313
五十鈴小学校区	五十鈴小学校	254日	32人	4,390
草川小学校区	草川小学校	205日	12人	1,393
合 計			76人	10,096

(9) 障がい者福祉サービス

①コミュニケーション支援事業（手話通訳派遣事業）【町受託事業】

聴覚障がい者に手話通訳者を派遣できるよう職員を配置しています。

相談件数	派遣回数（回）	利用者（人）	派遣延人数（人）
16（19）	3（2）	3（2）	9（5）

※相談件数の内13件は職員による手話通訳による相談（利用者1名）

②専門ボランティアの育成支援

○手話勉強会の支援

活動助成金の支給、勉強会の実施支援を行いました。

・助成額 60,000円

実施回数	40回（28回）
延参加者	456人（438人）

○点訳活動支援

定例会場貸出（社協だよりの点訳活動 原則として毎月第2水曜日）

③点字版「社協だより」の発行（協力 門川点訳サークル「点とうむし」）

配布先 町内視覚障がい者 2世帯 12回（2世帯 12回）

(10) 事故・苦情等の状況

区分	件数	内 容	対応
個人情報の紛失	1件	児童クラブ利用児童の個人情報が入ったUSBを紛失。	・職員研修会の実施 ・保護者への謝罪 ・マスコミによる周知 ・児童クラブの業務見直し ・個人情報管理体制の見直し
車輛事故	1件	公用車の物損事故	・交通規則遵守の徹底 ・被害者への補償

2) 在宅福祉事業の推進

介護保険法および障害者総合支援法等の制度事業を実施し、利用者が望む自宅での生活が継続できるように、機能維持、介護度改善、家族介護負担の軽減を目的に事業を進めました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については継続し、リモートによる会議や研修などでICTの活用に努め、技術の向上及び業務の効率化に取り組みました。

(1) 居宅介護支援事業の実施

○介護支援専門員による相談援助業務

利用者・家族の心身の状況等を把握し、自宅で生活する上での困りごとの相談援助を行い、ケアプラン作成、介護保険サービス事業所と情報共有を行ってまいりました。また、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策のため電話連絡等で利用者の状況把握を行いました。

- ・介護支援専門員 4人 (4人)
- ・実利用人数 153人 (168人)
- ・居宅介護支援延件数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
429 (369)	506 (574)	219 (265)	145 (161)	35 (33)	1,334 (1,402)

(2) デイサービス事業の実施（開所日数：254日）

利用者の心身機能の維持や改善、孤立感の解消、家族の介護負担軽減などを目的に実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために職員はもとより、利用者及びその家族も徹底し、質の高い安全なサービスの提供に努めてまいりましたが、利用者、職員の感染判明あり、感染拡大の防止のために事業を6日間休止する対応をとりました。

①通所介護事業

ア 介護保険事業

・利用状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実利用者数	16 (13)	28 (36)	7 (9)	3 (5)	1 (1)	55 (64)
延利用者数	1,575 (1,405)	2,806 (2,786)	590 (770)	163 (358)	131 (160)	5,265 (5,479)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービス)

・利用状況

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
実利用者数	7 (6)	24 (29)	20 (18)	51 (53)
延利用者数	175 (234)	1,520 (1,713)	1,051 (1,201)	2,746 (3,148)

②基準該当生活介護事業の実施

障がい者の社会参加や自立促進、生活の質の向上等を目的に実施しました。

・利用状況

実施日数	実人員	延利用者数	1日平均利用者数
93 (102)	1 (1)	93 (102)	1 (1)

③事故・苦情等の状況

区分	件数	内 容	今後の対応
ケア事故	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子・マッサージ機へ移動する際の転倒 ・預かった薬を紛失 ・昼食後、服薬の服用忘れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動時の見守り・職員間の連携強化 ・内服薬の把握と職員間の連携強化
車輦事故	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀等に接触 ・利用者送り後、前方不注意で車両に追突 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通規則遵守の徹底

(3) ホームヘルプサービス事業の実施 (開所日数：365日)

要支援・要介護の認定を受けた利用者が、住み慣れた自宅で生活が継続できるように必要な家事援助・身体介護を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、利用者が濃厚接触者となった場合でもサービスが継続できるような感染防止等の体制を整えました。

①訪問介護事業

ア 介護保険事業

・実利用者数 17人 (30人)

・利用状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延派遣回数	995 (1,017)	445 (338)	674 (164)	526 (279)	642 (264)	3,282 (2,062)
延派遣時間	980.5 (1,004.92)	444.67 (328.83)	427.25 (109.33)	520.25 (177.5)	425.5 (218.5)	2,798.17 (1,839.08)

イ 介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型サービス)

・実利用者数 24人 (32人)

・利用状況

	要支援1	要支援2	事業対象者	合計
延派遣回数	273 (473)	588 (675)	481 (722)	1,342 (1,870)
延派遣時間	272.0 (457.33)	586.83 (670.42)	481.0 (721.5)	1,339.83 (1,849.25)

- ②障害者総合支援法のホームヘルプサービス（居宅介護、同行援護、移動支援）
障がい者に対しホームヘルパーを派遣し、在宅の生活を支援しました。

【居宅介護】（宮崎県指定事業）

実利用者人員	延派遣回数	延派遣時間
7(6)	2,937 (2,972)	1,715.17 (1,717.92)

【同行援護】（宮崎県指定事業）対象：視覚障がい者

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
5(5)	32 (53)	72.83 (136.83)

【移動支援】（門川町指定事業）対象：外出支援を必要とする障がい者

実利用人員	延派遣回数	延派遣時間
1(1)	23 (26)	47.5 (49.67)

③事故・苦情等の状況

区分	件数	内容	今後の対応
ケア事故	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬の重複 ・シフト見落としによる訪問漏れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・服用済が確認できない場合は、服用させない（自己判断しない）事で徹底 ・シフト確認の徹底
車輛事故	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀等に接触 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通規則遵守の徹底

（４）実習の受入

事業名	実人数	実日数	実習生
居宅介護支援事業所	4人	8日	介護支援専門員実務研修九州保健福祉大学
通所介護事業(介護予防)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で受け入れ中止		
訪問介護事業(介護予防)			

3) 地域包括支援センター事業の推進

地域住民が抱える悩みや生活課題に対して包括的に支援する「総合相談窓口」として、保健・医療・福祉の関係機関や行政との連携を図り相談事業を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の防止対策については継続して細心の注意を払い、リモートによる会議や研修の参加などICTを活用しながら取りくみ、心身の健康増進と保持を目的とした介護予防事業や認知症施策の推進に努めました。

(1) 一般介護予防事業

①介護予防教室（栄養教室）

実施地区	27地区（3地区）
場所	各地区公民館
参加者	240人（55人）
内容	栄養に関すること（講話、塩分測定など）

②介護予防チャレンジ教室

加草2区住民を対象に実施

参加者	回数	内容
10人（延べ29人）	4	介護予防の講話、百歳体操等

（昨年度は実施できず4地区に広報啓発チラシを配布）

③いきいき百歳体操

実施地区	39会場／37地区（46会場／40地区）
場所	各地区の公民館等
参加者数	延べ1,147人（1,073人）

（内、介護予防チャレンジ教室の参加者も含む）

④体力測定

実施地区	30会場
参加者数	261人（男44、女217）

⑤いきいきサロン活動支援（フォローアップ）

実施地区	7会場／6地区（3会場／3地区）
場所	各地区公民館
参加者	99人（46人）
内容	体操・講話・卓球バレー・クリスマス会・その他

⑥ノルディックウォーク

	会場	回数	参加者数 (延べ)
サークルフォローアップ	9	18	124
出前教室	2	2	17
固定教室	1	7	51
体験教室	3	8	81
新規者向け体験交流会	1	1	7
サークル向け交流会	2	2	21

(昨年度はサークルフォローアップのみ 6会場 18回 延べ125人)

⑦スクエアステップ

	会場	回数	参加者数
実施会場フォローアップ	1	1	5
介護予防チャレンジ教室	1	1	6

(昨年度は地区訪問 2会場 3回 延べ24人)

⑧パワーリハビリ教室 利用実人数

	期間 回数	二次予防 対象者	要支援 認定者	一般 高齢者	障がい	合計
通常コース (午前) 8クール	3ヶ月 週2回	41 (23)	4 (1)	22 (12)	0 (0)	67 (36)
フォローアップ (午前) 2クール	6ヶ月 週1回	16 (11)	1 (1)	0 (5)	0 (0)	17 (17)
地域開放型 (午後)	—	28 (30)	1 (1)	20 (14)	— —	49 (45)

サポーター数4人 (4)

⑨介護予防事業サポーター交流会

サポーター自身の生きがいと、活動に対する意欲向上を目的に、意見交換や情報の収集と共有ができる機会として実施しました。

実施日	令和4年7月26日(火)
場所	クリエイティブセンター門川 体育室
参加者	34人
内容	講話、演習 演題：「救急蘇生法について」 講師：日向消防署職員

⑩介護予防大交流会

実施日	令和4年11月30日(水)	
場所	門川町総合文化会館	
参加者	214人	
内容	講演：「認知症予防と介護予防活動について」 講師：協和病院 院長 二宮 嘉正 氏 表彰（下記掲載）	
	受賞者数内訳	地区 人数
	ご長寿賞	3 (2) 3 (2)
	がんばったで賞（百歳体操）	3 2 (3 3) 3 2 (3 3)
	がんばったで賞（ノルディックウォーク）	1 (1) 1 (0)
	感謝状（パワーリハビリ）	1 (1) 2 (1)
	感謝状（ノルディックウォーク）	1 (1) 1 (2)
	感謝状（スクエアステップ）	0 (1) 0 (1)
	感謝状（介護予防活動）	0 (1) 0 (1)

※昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止の為、各公民館等で賞状と記念品を贈呈。

⑪介護予防担い手育成講座

地域での介護予防活動をサポートしていく人材の確保と育成に努めました。

実施回数	8月～2月にかけて10回の講座（4回）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	9人 延べ62人（9人 延べ35人）
内容	介護予防活動の担い手に必要な知識の講義と演習 必須講座を修了した4人のサポーターへ認定証を授与

⑫自炊力向上チャレンジ教室

低栄養のリスクの高い独居高齢者を中心に、食事の大切さを理解し、自力で献立と調理ができる食生活の改善が図れるよう支援しました。

実施回数	3回（4回）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	12人 延べ30人（2人 延べ4人）
内容	（講義・演習・グループワーク） 1日目（8月25日）介護予防と食事の関係性 2日目（9月1日）手軽に栄養満点 簡単レシピ作成 3日目（9月8日）献立づくりで健康な体づくり

※昨年度は新型コロナウイルスの影響により、自宅にて食生活状況を把握し低栄養改善を実施。

⑬介護予防活動の支援と協力

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、予防活動等が中止となっていた地区と連絡を取り、活動再開に向けて状況確認や相談等の支援を行いました。

(2) 認知症施策支援事業

① 認知症サポーター養成講座の開催

認知症の人やその家族を地域で支えていくために、病気や症状について学び、接し方や心構え等、理解できるように努めました。

実施日	場所	参加者
令和4年 8月29日(月)	門川町総合福祉センター	九保大実習生 2人
10月7日(金)	クリエイティブセンター門川	一般住民 17人
11月16日(水)	平城団地集会所	平城東地区住民 17人
令和5年 2月1日(水)	門川町総合福祉センター	担い手育成受講生 7人
2月9日(木)	門川高等学校	福祉課1年生 11人
2月10日(金)	リモート	福祉事業所職員 2人

② 認知症サポーターステップアップ講座の開催【新規】

認知症の理解をさらに深めてもらい、実践の場で必要に応じたスキル等が身に付くことを目的に実施しました。

実施日	場所	参加者
令和5年 2月17日(金)	門川町総合福祉センター	社協職員 30人
3月7日(火)	門川町総合福祉センター	養成講座修了生 9人

③ 認知症ひとり歩き模擬訓練

訓練名称と広報用のぼり旗のキャッチフレーズの募集を行い、門川高校生徒および一般住民による55作品の応募の中から決定。

実施日	令和4年12月4日(日)
場所	平城東地区
参加者	62人(地区住民、町民、事業所、来賓、社協、役場)
内容	概要説明、検索・声かけ・通報連絡、意見交換、まとめ

○広報啓発 「ひとり歩き模擬訓練」では発見の連絡からその後の対応までのやりとりを「どこシル伝言板」を活用して実施。

※どこシル伝言板…認知症等により行方不明となる不安のある方の家族に、見守りシールを配布し早期発見につながる安心サービス。

④ 会議・研修への参加

- ・ 認知症地域支援推進員会議 10回 (3回)
- ・ 認知症関連の研修 6回

(3) 認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援 チームとの連携	初期相談対応	5人 (3人)
	訪問回数	43回 (20回)
	初期集中支援チームへの紹介	3人 (3人)
	会議参加	12回 (14回)

(4) 包括的支援事業

① 高齢者等相談支援

○ 相談者延件数

来所	訪問	電話	書面	その他	合計
315 (324)	657 (522)	1,816 (1,566)	163 (115)	275 (110)	3,226 (2,637)

○ 相談者内訳延件数

本人	1,249 (1,073)	ケアマネ	214 (161)	医療関係	457 (439)
家族(同居)	405 (236)	役場	182 (145)	北部福祉 こどもセンター	13 (12)
家族(別居)	360 (332)	事業所	179 (116)	その他	39 (33)
近隣者	40 (33)	民生委員	88 (57)	合計	3,226 (2,637)

○ 相談内容別延件数

身体に関すること	1,711	(1,441)
認知症に関すること	658	(459)
疾病に関すること	199	(229)
高齢者虐待に関すること	34	(26)
権利擁護に関すること	2	(7)
実態把握訪問	135	(82)
障がいに関すること	47	(75)
その他	440	(318)
合計	3,226	(2,637)

②地域におけるネットワークとの連携及び支援

- ・地区福祉推進委員会（再掲）

6月19日（日）	古川公民館	包括事業、安心カード、他
12月7日（水）	三ヶ瀬地区多目的研修施設	包括事業、安心カード、他

③高齢者支援に関する情報発信

おとじま通信 （社協だより）	毎月	社協だより内に介護予防事業・ 高齢者の食事等の内容を掲載
ホームページ	随時更新	
エフエム ひゅうが	令和4年 5月13日（金） 8月26日（金） 12月9日（金）	介護予防事業について 自炊力向上チャレンジ教室について 認知症ひとり歩き模擬訓練

④関係機関との連携

ア 各種関係機関会議の参加

会 議 名	回 数
地域密着型サービス運営推進会議	1
門川町地域ケア会議	4
門川町国民健康保険運営会議	1
民生委員児童委員との意見交換会	1

イ 介護支援専門員連絡会の開催

介護支援専門員の資質の向上を目的に、各種研修の実施・行政機関との意見交換等を行いました。

実施回数	8回（3回）
場 所	門川町総合福祉センター
参 加 者	町内介護支援専門員、福祉課職員 延159人（延55人）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討等 3回 ・研修、地域課題の抽出 4回 ・民生委員児童委員との情報交換会 1回 支援の充実・強化に向けた提言書を町へ提出。

⑤権利擁護業務

ケース会議	7回（6回） 議題：高齢者虐待、認知症等
在宅高齢者等宅清掃活動【再掲】	2回（1回） 対象者：認知症高齢者世帯 障がい者世帯

(5) 介護保険事業

要支援1、2、総合事業対象者と認定された高齢者等に対してサービス計画を作成し、自立に向けた支援を行いました。

○介護報酬請求件数

	介護報酬請求延件数	内新規	自立実件数
介護予防支援	1,583 (1,694)	41 (57)	3 (3)
介護予防ケアマネジメント	738 (595)	40 (42)	5 (2)
合計	2,321 (2,289)	81 (99)	8 (5)

○特定福祉用具購入、住宅改修のみの利用者対応

	要支援1	要支援2	要介護	合計
特定福祉用具購入のみ	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (2)
住宅改修のみ	7 (4)	10 (5)	6 (2)	23 (11)
福祉用具購入と住宅改修	0 (3)	0 (6)	0 (1)	0 (10)
合計	7 (8)	10 (12)	6 (3)	23 (23)

4) 障害児・者相談支援事業の推進

(1) 障がい者相談支援事業の推進

障がいのある人の生活に関する悩みや様々な課題等について相談に応じ、情報の提供や障害福祉サービスの利用支援、権利擁護のための必要な援助を行いました。また、関係機関との連携を図り、地域住民に対して障がいの理解・啓発を行い、安心して暮らし続けられる地域づくりに努めました。

○実利用者数 101人(79人)

○種別延件数

相談件数	障がい種別(延)				
	身体	知的	精神	児童	※その他
964 (869)	288 (262)	169 (136)	215 (334)	73 (57)	219 (180)

※その他：難病、手帳の未所持者等

○相談方法延件数

相談方法				
来所	訪問	電話	文書	※その他
42 (26)	227 (219)	379 (383)	0 (1)	316 (240)

※その他：個別支援会議、関係機関との連携等

○会議等の開催

【個別支援ケース会議】

実施日	随時 年11回(17)
場所	門川町総合福祉センター、門川町役場、しろやま支援学校 草川小、五十鈴小、リモート、他
参加者	関係機関 延64人(126)
内容	生活困窮、不登校、権利擁護、サービス利用、就労、生活、 育児等

○会議等への参加

会議名	参加回数(回)
日向・東臼杵郡障がい者自立支援協議会および部会	15 (22)
日向・門川・入郷地区 就労・生活支援担当者会議	2 (1)
門川町地域活動支援センター運営会議	6 (6)
宮崎県障害者相談支援事業連絡協議会 (MSR)	14 (12)
かどがわっ子部会	2 (2)
生活困窮者支援会議・支援調整会議	3 (1)
その他	1 (0)
合計	43 (44)

○研修会等への参加

開催日	研修名
令和4年10月28日（金）	MSR県北ブロック 秋の研修会
令和4年11月4日（金）	居住支援を通して「住まい」と「暮らし」を考えるシンポジウム
令和4年12月6日（火）	MSRスキルアップ研修会
令和5年2月3日（金）	MSR県北ブロック 春の研修会

○障がいの理解・啓発に関する研修会の開催

実施日	令和5年3月30日（木）
場所	門川町総合福祉センター
参加者	民生委員児童委員 16人
内容	障がいのある人たちが抱えている困りごと

○計画相談

障がい福祉サービスを利用される方の相談支援、サービス計画の作成を行いました。

報酬請求延件数

計画件数	モニタリング件数
48（42）	125（124）

（2）地域活動支援センター事業の実施

障がい者等を対象に生活訓練や創作活動を通して、日中過ごせる活動の場を提供しました。

実施日数	実人員	延利用者数	一日平均利用者数
243（242）	5（3）	542（281）	2.2（1.2）

5) 法人経営体制の充実

(1) 役員会、評議員会の充実、職員の資質向上

① 役員会、評議員会の開催

・理事会 5回

実施日	令和4年6月10日(金)
出席者	理事5名(欠席1名)、監事2名、職員7名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収支補正予算について ・令和3年度事業報告及び収支決算書について ・社会福祉充実計画について ・定時評議員会の招集事項について

実施日	令和4年7月19日(火)
出席者	理事4名(欠員1名、欠席1名)、監事1名(欠席1名)、職員8名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収支補正予算について ・評議員会の招集事項について

実施日	令和4年11月28日(月)
出席者	理事5名(欠員1名)、監事2名、職員7名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収支補正予算について ・評議員会の招集事項について

実施日	令和4年12月19日(月)
出席者	理事6名、監事2名、職員6名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長の選定について ・定款細則の一部変更について

実施日	令和5年3月20日(月)
出席者	理事5名(欠席1名)、監事2名、職員7名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・育児休業等に関する規則を廃止する規程について ・育児休業等に関する規則の制定について ・臨時職員・嘱託に関する規程の一部改正について ・事務局規程の一部改正について ・文書取扱規程の一部改正について ・たすけあい金庫貸付規程の一部改正について ・たすけあい金庫貸付金償還免除要綱の制定について ・令和4年度収支補正予算について ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の招集事項について

・評議員会 4回

実施日	令和4年6月27日（月）
出席者	評議員6名（欠席1名）、役員（会長1名、監事2名）、職員7名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収支補正予算について ・令和3年度事業報告及び収支決算書について ・社会福祉充実計画について

実施日	令和4年7月28日（木）
出席者	評議員6名（欠席1名）、会長1名、職員7名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の補欠選任について ・令和4年度収支補正予算について

実施日	令和4年12月9日（金）
出席者	評議員6名（欠席1名）、会長1名、職員4名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の補欠選任について ・令和4年度収支補正予算について

実施日	令和5年3月29日（水）
出席者	評議員6名（欠席1名）、会長1名、職員8名
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度収支補正予算について ・令和5年度事業計画及び収支予算書について

②監査・調査の実施

期日	監査名・実施者	監査内容
令和4年 5月19日（木） 20日（金）	外部監査 （木山会計事務所）	令和3年度決算監査
令和4年 5月30日（月）	社協監査 （社協監事）	令和3年度事業、 決算監査
令和4年10月18日（火）	日常生活自立支援事業 訪問調査（オンライン） （宮崎県社会福祉協議会）	日常生活自立支援事業
令和4年10月21日（金）	補助団体等に関する監査 （町監査委員）	令和3年度事業、 決算監査
令和4年11月11日（金） 14日（月）	外部監査 （木山会計事務所）	令和4年度中間監査

③職員研修、職員派遣

区分	回数	人数	主な内容
外部研修	69(128)	90(167)	認知症地域支援推進員研修等
内部研修	47(76)	297(321)	職員全体研修（個人情報保護、社協事業等） 職員各課・係研修会等
職員派遣 （会議）	175(178)	227(231)	地域ケア会議、介護認定審査会等
職員派遣 （講師等）	16(13)	12(26)	福祉教室・体験学習、 認知症サポーター養成講座等

（２）ICT化推進の検討

①職員ワーキングチーム（課長補佐以上7名）の開催
日常業務や研修会等でのICT活用の検討を行いました。

②職員研修会の開催
Zoomを活用しての職員研修会を行いました。

（３）自主財源の確保

①会費

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
一 般 会 費	5,143(5,289)	1,851,540(1,904,130)
賛 助 会 費	558(583)	1,185,000(1,242,000)
合 計	5,701(5,872)	3,036,540(3,146,130)

②寄付

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
香 典 返 し	109(138)	3,376,072(4,475,000)
一 般 寄 付	5(3)	228,000(110,000)
合 計	114(141)	3,604,072(4,585,000)

（４）赤い羽根共同募金運動の展開

①宮崎県共同募金会門川町共同募金委員会事務局業務
ア 運営委員 14名

イ 監査の実施

実 施 日	令和4年6月13日（月）
場 所	門川町総合福祉センター 診察室
出 席 者	監事 2名、事務局 3名
内 容	令和3年度事業報告、決算監査

ウ 共同募金運営委員会の開催

○1回目

実施日	令和4年6月29日(水)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	委員 11名、事務局 5名
内容	令和3年度事業報告、決算について 令和4年度事業計画、予算について 役員選出について

○2回目

実施日	令和4年9月29日(木)
場所	門川町総合福祉センター 会議室
出席者	委員 12名 事務局 4名
内容	令和4年度共同募金活動事業計画について

エ 「赤い羽根共同募金だより」の発行(令和5年3月)

配布先 町内全世帯、町内事業所等(6,200部作成)

オ カプセル玩具販売機「ガチャガチャ」募金活動

カ 「赤い羽根共同募金運動」支援自動販売機設置(令和4年7月)【新規】

設置場所 かどがわ温泉心の杜

②募金実績

共同募金運動の推進(令和4年10月1日~12月31日)

募金総額 4,428,479円(4,378,009円)

[募金目標額 3,804,000円 達成率 116.0%]

募金種別	金額(円)
戸別募金	3,022,600(3,059,600)
大口・法人募金	1,093,000(1,079,000)
職域募金	59,000(52,100)
地域募金	18,301(23,808)
学校募金	111,096(65,147)
街頭募金	45,433(0)
その他	79,049(98,354)

(5) 財務状況の公開

予算、決算状況を社協だより及びホームページにおいて公開しました。

(6) 情報公開制度の推進

- ①「社協だよりの発行【再掲】
- ②ホームページによる情報提供の充実【再掲】

(7) 苦情解決への取り組み

本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援するために、苦情解決委員を選任しています。

(8) 施設管理【町受託事業】

門川町より指定管理者の指定を受け総合福祉センターの適正かつ円滑な管理に努めました。(指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日)

総合福祉センター

- ・開館日数 261日
- ・年間利用者数 17,004人(14,688人)
(内有料貸出 0回)

(9) 労務管理

- ①「労働基準法」「労働安全衛生法」等に基づき、社会保険労務士の指導のもと、適正な労務管理に努めました。
- ②宮崎県の「仕事と家庭の両立応援宣言」に基づき、職員が働きやすい職場づくりを目指しました。
- ③労働安全衛生法に基づき、職員の心身の健康保持のため、健康診断及びストレスチェックを産業医の指導のもと行いました。

(10) 社会福祉充実計画

- ①通所介護事業室のカーテン設備の入替を行いました。
- ②職員に処遇改善の一時金を支給しました。

(11) 災害支援の取り組み

令和4年大雨災害義援金活動に取り組みました。

【注釈】

[ICT]

Information and Communication Technology の略。情報通信技術
情報処理や通信に関する技術・産業・設備・サービスなどを総合的に指す用語です。

[Zoom]

ビデオ会議システムの1つで、パソコンやスマートフォン、タブレットなどのデバイスを使用して、オンラインでセミナーや会議を開催するために開発されたアプリケーションです。テレビ会議と言われることもあります。

新型コロナウイルス感染症防止への取組み

1. 感染流行地域等における利用者、職員の接触についての制限
 - ①サービス利用者、家族等が感染流行地域等への訪問又は流行地域からの帰省者等との接触があった場合、翌日から5日間のサービス利用停止
 - ②職員が感染流行地域等への訪問又は流行地域からの帰省者等との接触があった場合、翌日から5日間の自宅待機（特別休暇付与）
延64人（延取得日数 282日）
2. 介護予防事業
公共施設閉鎖時の介護予防事業の休止
3. 在宅利用者訪問
利用者宅訪問時におけるマスク、フェースシールド着用、消毒液携帯の徹底
4. 総合福祉センター貸出し休止等
公共施設閉鎖時の会場貸出し休止及び職員朝礼の休止
5. 総合福祉センター来館者把握等
 - ①来館者受付、検温、入館制限
 - ②西側玄関閉鎖
 - ③職員出勤時検温
6. 通所介護事業（デイサービス）の入室制限
通所介護事業職員以外の職員等の入室禁止
7. 注意喚起
 - ①サービス利用者・家族及び職員へ感染防止の文書配布による注意喚起
 - ②職員朝礼等における注意喚起